

# 福祉

\*\*\*\*\*

## 提案・意見 障がい者の施策について（回答:6月1日時点）

1. 市内の就労継続支援B型の施設について、工賃向上の取組みを・・・
  - ・三重県の平均工賃に近づける（平成30年度 15,560円）
  - ・各事業所は苦勞していますが、平均工賃に至っていません。
  - ・例として、伊勢市の優先調達品目等の役務の拡大を・・・
2. 市内でのグループホームの施設は足りていません。利用者は他の自治体のグループホームを利用しています。

各社会福祉法人が施設の建設が出来やすい環境づくりが必要です。例として、三重県障害者グループホーム緊急整備費補助金上限、1500万円（県2分の1・市2分の1）750万円のアップを・・・

「親なき後」といいながら、実際には何も考えられずに手をこまねいて亡くなるという現状を何とか改善へ向けて先の見えるものにする必要があります。

親元からスムーズに移行出来るようにグループホームへの公的支援が上乘せされないで障害基礎年金2級の受給者は生活していけません。このままでは、生活保護の受給でしか解決できない人が多くなって、少子高齢社会の中で地方自治体の財政を圧迫してしまいます。
3. 市内の特定相談支援事業所での相談支援専門員のスキルアップを・・・

現状、障害分野の相談支援専門員は研修を受けただけでなれる職種であり、試験を受けて認定される国家資格ではありません。（介護保険のケアマネージャーは国家資格です）

まだまだ、そのスキルが不十分な人が相談支援にあたっていると言わざるを得ない。少ない予算措置で実効性のある支援をするものを作ろうとするのであれば、地域資源としての特定相談支援事業所のスキルアップがひとつのキーワードになります。研修でのスキルアップが欠かせません。

又、少なくとも、特定相談支援事業所がきちんと機能して、各家庭のリスクを早くから把握していればと思う事があります。
4. 地域生活支援拠点の整備の促進を・・・

深夜の緊急事態への支援体制の不足が一番の課題です。特定相談支援事業所の担当者がきちんと各障がい者の家庭的背景を把握し、どのようなリスクを抱えているのかをきちんと整理出来ていたら緊急対応は解決出来る可能性が限りなく広がります。
5. 障害福祉サービス等の体系生活介護
  - ・常に介護を必要とする人に対して、主に昼間に入浴・排泄・食事の介護等を行うとともに、創作的活動や生産活動の機会を提供する。就労継続支援B型事業
  - ・通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行う。

市内の事業所で、たとえば就労継続支援B型事業所に、明らかに生活介護での利用が望ましい利用者が多々通所しているのが現状です。親御さんの意向とかその他の理由があるのかわかりませんが、利用者側にたてば明らかに虐待事案ではないでしょうか？一日中、他の利用者は作業している中で、一人机で何もしなく時間が過ぎるのをまつ日々がつづくことが、虐待そのものではないでしょうか。生活介護の事業所に通所すれば、創作的活動等の機会が受けられるのに・・・行政の取組みとして、どう思われますか・・・

何もしなくこのままか又は調査して変革していくかは伊勢市の手腕にかかっています。

## 回答

### 1. 市内の就労継続支援B型の施設の工賃向上の取り組みについて

市では毎年伊勢市における障害者就労支援施設等からの物品等の調達目標方針を策定し、令和2年度は47,992,000円の役務を行うこととしております。就労継続支援B型事業所の工賃向上につきましては、伊勢市における障害者就労施設等からの物品等の調達方針に基づき、三重県と連携し、各課への働きかけを行いながら、更なる優先調達等の推進を目指していきたいと考えております。

### 2. 市内でのグループホームの施設の不足について

グループホームの事業者指定に関しては三重県の事業となっておりますが、伊勢市の独自事業として、伊勢市重度障がい者支援事業所運営補助金を整備しており、重度障がいのある人を受け入れたグループホーム等に対して、補助金を交付しております。今後も三重県と連携をとりながら、グループホームの整備事業者に対して支援をしていきたいと考えております。

### 3. 市内の特定相談支援事業所の相談支援専門員のスキルアップについて

相談支援専門員は、実務経験の経験年数の要件を満たした上で研修を受けていただくことにより、その資格が認定されています。現在、伊勢市相談支援ネットワーク会議において、毎月市内の特定相談支援事業所が連携し、研修等による相談支援専門員のスキルアップを実施しております。今後もこのような機会を利用し、相談支援専門員の更なるスキルアップを目指していきたいと考えております。

### 4. 地域生活支援拠点の整備の促進について

現在、伊勢市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画に基づき、地域生活支援拠点の整備について検討しているところです。緊急対応の方法などを含め、令和2年度中には地域生活支援拠点の面的整備を目指して検討をしております。今後の伊勢市施策推進協議会や自立支援部会でもご意見をいただきながら整備をすすめていきたいと考えております。

### 5. 障害福祉サービス等について

事業所の利用につきましては、相談支援専門員が本人及び家族からサービス利用にかかる意向等のアセスメント調査をして作成するサービス等利用計画に基づき、利用をしていただいています。より良いサービス等利用計画の作成には、利用者のみなさんの意向を十分確認するとともに、伊勢市相談支援ネットワーク会議を継続することで、相談支援専門員のスキルアップを行っていただきたいと考えております。

担当課

障がい福祉課 (2020年6月回答) [6/1~6/5]

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

「市政への提案箱」への個人情報提供について  
(回答:6月3日時点)

先月、匿名で「市政への提案箱」に投稿をさせて頂きました。あとで重要項目を読むと『内容についての問合せや返事を作成し、返信させていただくのに必要ですので、氏名、タイトルを必ず記載してください。記載のないものや記載に誤りがあるものについては、回答いたしかねますのでご了承ください。』とあり、個人情報を提供しなければ受付してもらえません。

このことから、対応してもらえないと思っていたところ、先日ホームページに公開されていたので安心をしたところでした。

しかしながら、このことで思ったことがありますので再度投稿させて頂きました。

投稿の際に氏名を記入するよう義務付けておりますが、これには問題があるように思います。

氏名を必須項目としていることについて、市民の中には市役所と利害関係があったり、市職員の家族であったり、市と何らかの関わりのある市民については名乗りたくない場合もあり、そうした場合には門前払いとなって意見が言えなくなります。

つまり、名前の記入を義務付けることにより市民を選別していることに繋がるのではないのでしょうか。(とりかたによっては差別?)

これは、恐らくいたずらによる投稿を防ぐ手段であるとは思いますが、広く市民から意見を聴こうとするのであれば個人情報の記載義務は本末転倒であり、やめるべきだと思います。

なお、総務省の「ご意見・ご提案」や三重県の「さわやか提案箱」では個人情報を必須とはしておりませんので、参考としてご検討いただければと思います。

## 回答

当市では、ホームページシステムのリニューアルに伴って、ご投稿いただく際に入力していただいたメールアドレス宛に投稿フォームのURLを送信し、そこから投稿入力をしていただく方式に変更いたしました。これにより、回答「必要」をご選択いただいた場合でもメールアドレスを確実な返答先として取り扱えるとともに、新たないたずら投稿防止対策といたしました。

このことから、氏名記入を必須事項から外すよう、見直したいと考えております。

担当課

広報広聴課 (2020年6月回答) [6/1~6/5]

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

PCR検査、発熱外来 （回答:6月3日時点）

発熱が4日以上続いていたのでかかりつけ医に行き、日赤を紹介されましたが、PCR検査などはしてもらえず、レントゲンと、血液検査だけでした。無症状の陽性者もずいぶんいるとのこと、とりあえず、かぜ症状のある人だけでもPCR検査などして、早めに見つけてほしいと思います。

結局その後も何回も、他の医療機関にかかり、医療費がかかりました（症状がよくならなかったため）。

早く検査して、ちがう病気の可能性を見つけた方が医療費が減ると思うし、蔓延して、学校や社会活動を止めることになる、結局税金がかかると思う。発熱外来をつくり、早期発見につなげた方が、市民の安心につながる。

## 回答

医療体制の確保に貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染は、現在、皆様が非常に心配されていることと思います。

新型コロナウイルス感染症の発生・拡大による地域医療崩壊を防止しながら、検査を受けられる機会の幅を広げ、市民の皆様の安心に繋げるため、伊勢市では、伊勢地区医師会と連携して伊勢地区検査センターを開設しドライブスルー方式で令和2年6月1日からPCR検査を開始いたしました。

伊勢地区検査センターでは、伊勢地区医師会の会員である医師のもと、PCR検査が必要であると判断された患者様の検査を実施いたします。

ご心配の場合は、これまで同様、まずはかかりつけ医へご相談いただきますようよろしくお願いいたします。

今後、感染拡大の第二波発生の懸念もされています。

厚生労働省から出されています『新しい生活様式』の実践例なども参考に一人ひとりが基本的感染対策をしていただきながら、市としましても感染防止対策に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

担当課

健康課 （2020年6月回答） [6/1~6/5]

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

市役所ロビーのテレビモニター（回答:6月2日時点）

刻々から市役所のロビーにて、テレビモニターに映し出される各企業の住所及び電話番号等をメモするにも、早過ぎてメモれません。  
もう少し切り替わりを遅く出来ませんか。

回答

本館1階ロビーに設置しております企業広告モニターの表示切替え速度について、この広告モニターは、広告代理店が市へ広告料を納付して設置しているものであることから、ご要望をいただいた内容について広告代理店へ申し伝えます。

担当課

資産経営課（2020年6月回答）〔6/1～6/5〕

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

妊婦特別給付金について（回答:6月5日時点）

高知県四万十市や和歌山県和歌山市、愛知県大府市等、市独自に妊婦さんに10万円を支給する「妊婦特別給付金」を設ける方針を発表されました。その他いろんな県でも給付されています。

伊勢市もマスク25枚だけでなく、このような対策はされないのでしょうか？通常とは違う環境で精神的にも身体的にも皆さん大変です。立ち会い出産も制限されていたり、妊婦さんの心理面も大変ですよ！

伊勢市はコロナ流行していないから…ではなく皆さん自粛や対策はしっかりされているからこそその感染0人だと思います。

他の県でもされているように給付金必要だと思います。検討宜しく願います。

## 回答

市民の皆様には、新型コロナウイルス感染症予防対策にご理解ご協力いただき、深く感謝申し上げます。

妊婦の皆様は、妊娠中の生活に加え、新型コロナウイルス感染症予防対策への取り組みや感染への不安など、普段とは異なる生活を余儀なくされており、日々本当に大変な生活を送られているとお察しします。

現在、市では①感染防止対策②生活支援対策③経済対策を柱に「伊勢市新型コロナウイルス緊急対策」に取り組んでおります。妊婦さんにつきましては、以前より、妊婦健康診査14回（総額117,770円）と産後の健診を2回（各5,000円）、赤ちゃんの1か月児健診1回（5,000円）の助成を行っており、今回の新型コロナウイルス感染防止対策としましては不織布マスクの配布を行うこととなりましたので、ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

担当課

健康課（2020年6月回答）〔6/1～6/5〕

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

いせスマートほいくえんについて（回答:6月4日時点）

「いせスマートほいくえん」について質問です。

先日から我々保護者間のグループライン等で「いせスマートほいくえん」の動画のURLが届いています。

見ると、保育士さんが被り物など何もせずに動画に出演しており、YouTubeは世界中どこからでもアクセスすることが可能なので、彼女たちのプライバシーが守られているかどうか、まっさきに気になりました。

見ている方は楽しいですが、出演しているのは若い保育士さんが多く、もしも強要されているようなことがあれば問題だと思いますが、きちんと承諾は得ているのでしょうか？

また、プロがアップロードしている動画が沢山ある中、改めて伊勢市が人件費を割いて動画を撮る必要性はあるのでしょうか？

先生方はこの動画を作成するために時間を割かれていると思いますが、果たして先生方にその時間を取って頂くほどの価値がこの動画にあるのでしょうか。

この動画を作成する時間を、子供たちと接する時間に宛てて頂いた方が、保護者としては嬉しく思います。

そして、スマホ育児が問題視されている昨今、スマホ依存症の後遺症として指摘されているものに

- (1) 睡眠リズムの崩壊と慢性的な睡眠障害
- (2) 学業成績、職業機能の低下
- (3) 遂行機能や注意力、記憶力の低下
- (4) うつ状態や無気力
- (5) 社会的機能を低下させ、しばしば社会恐怖を強める
- (6) 神経過敏、攻撃性や敵意の増大
- (7) 認知を歪め、ストレスへの非機能的対処を助長
- (8) 肥満や視力障害さ、頭痛、腰痛など身体的な問題があります。

そのスマホ依存のきっかけとして危険性が最も高いと言われているのが動画とソーシャルゲームです。

その動画をそれも乳幼児期に見せるという政策はどういった理念の元に行われているのでしょうか？

子どもの育ちに悪影響であるとしか思えません。

伊勢市は子供に動画を見せることを推奨されているのでしょうか。

このような保育士さんたちが出演する動画を上げているということはそのように取られてもおかしくないと思います。

私はあまり見せないようにしていますが、園の先生方が出ているというと、子供が見たがり大変困っています。

是非、納得のいく説明をして頂きますよう、よろしく願いいたします。

## 回答

ご意見をいただきました件について、まず、職員のプライバシーにつきましては、個人の情報を掲載しているものではなく、顔を出すことについては職員の同意のもとで撮影を行っております。

次に、伊勢市が動画を作成した経緯や考え方についてです。新型コロナウイルスの感染拡大により、当初は3月3日から子育て支援センターの講座や交流ひろばを休止したことを受けて、家庭で過ごす保護者とお子様に向けて、普段子育て支援センターで行っている手遊びを楽しんでいただく目的ではじめました。その後、4月15日から市内の保育所等の登園自粛要請により、登園する園児数が1/3ほどに減少したことから、登園自粛が長期化した場合、幼児教育や保育を受けられないまま卒園・進級してしまうことを懸念し、配信した動画を家庭で視聴していただくことで少しでも補完していきたい、という考えに基づいて、保育所等の園児向けにも内容を拡大して動画配信を行ってきたところです。

現在、配信をしている動画は登園自粛期間中に作成・収録したものを順次配信しているものです。

また、スマホ依存等の問題については、様々なご意見があるとは思いますが、今回動画配信を実施したのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点においては、「接触を避ける」ことが必要であるため、そのための1つの手段として動画を活用したものであり、保護者が管理するなど適切に視聴していただければ、必ずしも、動画がスマホ依存症へ悪影響を及ぼすことはなく、お子様に楽しんでいただけるものと考えております。

今後も、感染拡大防止対策が取れず止むを得ず中止したり、保護者の方に参加していただけない行事などについては、家庭で行事の雰囲気を楽しんでいただくために、動画を作成していくことを考えておりますが、様々な配慮を行った上で実施していきたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

保育課 (2020年6月回答) [6/1~6/5]